

【副作用被害救済(障害・死亡)認定頻度の比較】

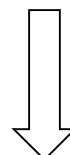
2021年8月現在

1 HPVワクチンの認定頻度 *1 *2

ワクチン	実施人員(企業推定)合計	認定人数合計	接種100万人あたり数
HPVワクチン	3,280,000人	46人 (障害46人, 死亡0人)	14.02人

(うち, 定期接種112,880人からは3人障害認定。100万人あたり 26.58人)

<HPVワクチンの認定頻度の高さ>



2 定期接種(A類疾病)ワクチンの認定頻度 ~各最大数として試算

(平成17~30年度) *1 *2 *3

ワクチン	期間実施人員合計	認定人数合計	接種100万人あたり数	
DPT・DT	21,885,724人	22人 (障害16人, 死亡6人)	1.01人	(13.95倍)
ポリオ	10,156,259人	34人 (障害33人, 死亡1人)	3.35人	(4.19倍)
DPT-IPV (四種混合)	6,404,055人	4人 (障害3人, 死亡1人)	0.62人	(22.45倍)
麻しん・風しん (MR 二種混合)	38,127,897人	24人 (障害21人, 死亡3人)	0.63人	(22.28倍)
日本脳炎	20,692,056人	28人 (障害22人, 死亡6人)	1.35人	(10.36倍)
結核 (BCG)	13,800,548人	4人 (障害3人, 死亡1人)	0.29人	(48.39倍)
肺炎球菌(小児) (PCV)	6,157,396人	4人 (障害2人, 死亡2人)	0.65人	(21.59倍)
Hib	6,132,892人	3人 (障害2人, 死亡1人)	0.49人	(28.67倍)
水痘	5,530,563人	3人 (障害2人, 死亡1人)	0.54人	(25.85倍)
B型肝炎	1,852,935人	0人	0.00人	—

定期接種(A類疾病)ワクチン平均 **0.89人** **15.70倍**

*1 個別決定の内容は, 緊急促進事業(定期接種化以前)はPMDA, 定期接種は厚労省(疾病・障害認定審査会 感染症・予防接種審査分科会)の各ホームページで公開。予防接種審査分科会では, 平成17年度から(正確には16年度の途中から)の個別決定の内容が公開。
(<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0036.html>) (https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-shippei_127696.html)

*2 定期接種の実施人員は, 厚労省ホームページでの公表人数(現時点で平成30年度まで公表)から接種スケジュールを加味して加算。(<https://www.mhlw.go.jp/topics/bcg/other/5.html>)
HPVワクチンの実施人員は, 令和3年8月4日厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会と薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会との合同会議資料による。各製造販売業者が報告した推定接種人数は, サーバリックスが241万人, ガーダシルが87万人。
(https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000208910_00028.html)

*3 複数ワクチン同時接種での認定例は全てのワクチンに1人として計上し, 認定頻度を最大数として試算した。そのため, 定期接種ワクチンの認定頻度は実際より高い数字になっている。